

BIODIVERSITY CONSERVATION / REHABILITATION PROGRAM AT THE SABAL FOREST RESERVE IN SARAWAK, MALAYSIA

The Forest Rehabilitation Program at Sabal Forest Reserve is made possible through the contribution of UPR Corporation (Tokyo, Japan) with the hope of preserving the forest for conservation of its ecosystem, and to build on everlasting friendship bond between Japan and Malaysia.

Size: 12 ha (4,800 trees)
Species: Planting Dipterocarps, and other indigenous species
Location: Sabal, Sarawak Division, Sarawak, Malaysia
Duration: September 2010 - July 2011




植林特集号 Vol.4

- 4年目の新たな取り組み1
- マレーシア植林レポート2
- 現地工場訪問レポート3
- 東南アジア出張記4

植林活動への取組み、新たな地へ

2010年11月19日(金)～25日(木) マレーシア・インドネシア・シンガポール



4年目の新たな取組み

uprは木製パレットをインドネシアやマレーシアなど東南アジアから輸入しており、木材を利用する者としてその土地に再び木を植え、熱帯林の造成・保全に寄与することは責務だと考えております。

今年で植林活動への寄付は4年目になります。

2006年～2009年にわたりインドネシア西スマトラ州で植林を実施いたしました。

今年2010年より新たな地、マレーシアサラワク州サバル保存林にて植林活動をスタートすることとなり、11月に酒田社長と社員3名がマレーシア・インドネシア・シンガポールを訪問。

植林地や近隣の工場、フリータイムなど振り返ります。

マレーシアでの植林活動レポート



この度訪問した植林地はサラワク州サバル保存林はクチン郊外から車で約2時間の所にあります。道中ではあの果物の王様で知られる「ドリアン」が至る場所で売られており、是非一度食べてみたいという私の希望を叶えて頂き、当日朝採れたドリアンを頂く事が出来ました。(新鮮なドリアンは全く臭いはありませんよ)



現地に到着後、南洋材の一種のカポールを植樹行いました。近隣の4つの村の村長含む約15名の方々が植林に参加され、作業時大変協力的で今回の植林に対しての期待の大きさを強く感じる事が出来ました。

村の住居はロングハウス(長屋)で日頃から集団生活をしているため、村の皆さんのチームワークがすばらしかったです。

植林後には現地のカレーをご馳走になりました。同所では米を主食としておりほぼ3食米は食べられているそうです。現地の方々には今回同行したメンバーの中でも私の名字(阿部)が簡単な事もあり、突然でびつくりしましたが帰る際には名指しで呼んで頂けるようになりました。(阿部 昌宏)



サバル保存林の 森林生態回復プロジェクト



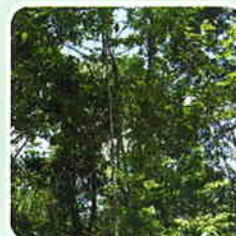
国際緑化推進センター
(JIFPRO)を通じ、
マレーシアサラワク州
サバル森林保護地区に
3年間で12haの植林を実施します。
(協力機関: サラワク森林公社)

財団法人国際緑化推進センター
Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center

SARAWAK FORESTRY CORPORATION

アグロフォレストリー

「アグロフォレストリー」とは林業と農業を組み合わせた技術を言います。植林作業はサバル保存林近隣に住むイバン族(先住民族)の方に依頼しますが、植林をするだけでは彼らに将来的にメリットが少なく、農地にする為に木を伐採してしまうこともあるそうです。彼らにもメリットがでるように、森林間で養蜂・家畜(鹿・猪)の飼育、魚の養殖を行い現金収入を得られるようにしながら、植林などの保全活動の啓蒙を行っているそうです。



uprはこれからも熱帯雨林保護・再生のために
 苗を植え、苗の成長を見守り続けていきます。



UPR Corporation

「選べるパレット 探せるパレット
 レンタルパレットの未来を切開く」



①まずは植林場所の確認です



②こちらで今後三年間植林を行います



③藪の草を刈りラインを作り



④苗を植える穴を掘って



⑤慎重に苗を植えます

セメンゴ・オランウータン リハビリセンター



サラワク森林公社が運営しているという事でセメンゴ・オランウータンリハビリセンターに案内して頂きました。
 オランウータンを野生に戻すための広大な保護区の森です。
 餌付けの時間になると森の奥からやってきて、ゆっくりと目の前を通り過ぎて行きます。柵も何もありませんので、息を殺して静かに見守りました。

現地工場訪問レポート



今回、インドネシア・シンガポールの2箇所のパレット製造工場を訪問しました。

インドネシアの工場では40ha(東京ドーム約8.5個分)の工場を保有しており従業員約700名の大規模な工場でした。同工場ではパレットの他に家具の製造も行っていました。訪問時は当社のレンタルパレットの検品を行い、基本的に手作業が多い為、小柄な男性2名が約100kg近い当社のレンタルパレットを次々と反転させる姿には驚きました。

シンガポールの工場では以前まではパレット製造が主体だったが現在は梱包関係が全体の約8割を占めており訪問時はパレットの補修作業をメインに行っていました。シンガポールでは製造・廃棄のコストが高く同工場においては10年程前からマレーシアで打立てを行っており商社的な流れ強くなっているそうです。

東南アジア出張記

今回の出張では、インドネシア、マレーシア、シンガポールの3カ国を訪問しました。
 シンガポールといえば、何を連想されますか？ 多くの方がまずはマライオンではないでしょうか。
 『世界3大がっかり』のひとつといわれているマライオンは実際に見学すると、思っていたほど小さくもなく、かなり迫力のあるものでした。また、マライオンの後ろにはミニマライオンもいてかわいいものでした。
 その、マライオンがある対岸にすばらしいホテルが完成していました。
 2010年に完成したホテル『マリーナ ベイ サンズ』です。
 なんとこのホテルの屋上はプールになっており、屋上から素晴らしい景色を眺めることが出来ました。
 プールは、このホテルの宿泊者に限り泳ぐことが出来るもので、57階で世界で一番高いところにあるそうです。



また、私たちが訪問した11月下旬はシンガポールでもクリスマスイルミネーションをあちこちで見ることができました。
 半そで、半ズボンで体験したクリスマスも貴重な経験でした。



マレーシアでは、地元の方のお勧めの朝ごはん『ラクサ』を食べました。ココナッツ風味の濃厚なスープ麺で、海老の塩辛のようなもので味を調節すると、さらに奥が深い今まで経験したことのない食べ物でした。



2010年度植林メンバー



成松 静佳

Shizuka Naitsumatsu

部署/SCM本部



棟久 正啓

Masahiro Munehisa

部署/大阪営業所



阿部 昌宏

Masahiro Abe

部署/福岡営業所

◇御礼◇

今回の出張に際しまして、関係者の方にはご多忙中にもかかわらず、ひとかたならぬご高配を賜り、心より御礼申し上げます。



「 選べるパレット 探せるパレット
 レンタルパレットの未来を切開く 」

ユーピーアル株式会社

- 東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋 6-9-4
 新橋6丁目ビル 3F
 Tel : (03)3435-9141 Fax : (03)3435-9149
- 宇部本社 〒759-0134 山口県宇部市善和川東 541-12
 Tel : (0836)62-1112 Fax : (0836)62-1417
- 営業所 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・山口・福岡

UPR Corporation URL : <http://www.upr-net.co.jp>